

骨粗鬆症の新しい治療



骨密度は20歳前半でピークに達し、40歳半ばまではほぼ一定ですが、50歳前後から急速に低下していきます。また、骨粗鬆症の発症は加齢や閉経以外にも食事や運動の習慣などが深く関わっています。そのため骨の生活習慣病とも呼ばれ、食事療法や運動療法を心がけることにより、骨密度の低下を防いだり、低下の速度を遅らせたりすることができます。骨粗鬆症は自覚症状の乏しい病気です。気づいた時には病状が進行していたという事も少なくありません。定期的に健診を受け、早期発見、早期治療が重要です。

今回は、専門の立場から分かりやすく説明します。また、皆さんの質問にもお答えします。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

日時

平成24年7月21日(土) 14:00~16:00

場所

加古川総合保健センター3階大会議室 (加古川警察署南)

司会

後藤 義人 (後藤整形外科)

講師

「骨粗鬆症の病態と診断」

山本 晃裕 (山本整形外科リウマチクリニック)

「骨粗鬆症の保存的加療」

八木 正義 (やぎ整形外科クリニック)

「手術が必要な骨粗鬆症による骨折」

青木 謙二 (県立加古川医療センター 整形外科)



お知らせ

参加無料(申込不要)・手話通訳有

質問

7月14日(土)までに下記へファックスまたは郵送・メールにてご送付ください。

事務局

〒675-0101 加古川市平岡町新在家1224-12 電話 (079)421-4301 FAX (079)421-4303
医師会ホームページ <http://www.kakogawa.hyogo.med.or.jp/>
メールアドレス office@kakogawa.hyogo.med.or.jp タイトルに「市民健康フォーラム」と入力して下さい。